



# せいめい

第 26 号

平成 29 年 9 月 29 日

一関清明支援学校

P T A 広報部

「思いがけず気がついたこと」



一関清明支援学校 P T A

副会長 杉山 抗

毎朝、通勤の車中でラジオを聴くのが私のささやかな楽しみの一つです。ある日の放送で、男性と女性の思考の違いが「問題解決脳と共感脳」として紹介されていました（医学的な話ではないと思いますが）。

例えば、夫が仕事から帰宅したところ、妻の体調が優れなくて、夕食の準備がされていなかった場合。妻は夫からの「大丈夫？」という言葉を期待しているのに対し、夫は「夕食はどうする？」と言ってしまうのだとか。あるある、と思って笑いながら番組を聴いていましたが、この問題解決脳、自分の娘に対してもやっちゃってしまっていることにふと気がつきました。



娘が小さい頃は「そうだね、○○だったね。」と、まずは共感してあげてことを心掛けていたはずなのですが、高等部になった現在ではすっかり面倒になって「はいはい。じゃあ、こうしよう。」で済ませることが知らず知らずのうちに多くなっちゃったと、反省しきりです。皆さんはお子さんに対して、ちゃんと「共感脳」できていますか？特に男性の方、仕事モードのまま帰宅したときは要注意ですよ（笑）。

「共に生きる」



一関清明支援学校

校長 稲邊 宣彦

インクルーシブ教育の話ではありません。夏休み明けの 8 月 18 日、一関二高の校長先生が「農場にクマが出没し桃の木が荒らされました。」と知らせに来てくれました。昨年はリンゴの収穫の終り頃に出没したそうです。これから梨やリンゴも収穫の時期を迎えるため更に注意が必要な状況です。罾を仕掛けたそうですが捕獲の知らせはありません。熊は動物園で見られるものだと思っていました。熊は動物園で見られるものですが、身近での目撃情報が入ってきます。豊かな自然の恵みを頂き野生で暮らしていた動物が里に下りてきています。温暖化や狩猟の減少、耕作放棄地の増加など原因は様々あるようです。

3 月まで勤務していた釜石では鹿やサルを街中で見かけました。復興道路の建設のため、動物たちが住まいを追われたようです。野生動物と共存できる環境を守るためにどうしたらいいのでしょうか。動物たちも自然の中で暮らす命です。増えたら駆除、減ったら保護ではない対策が求められています。





岩手県立一関清明支援学校PTA会報25号

平成29年 5月31日

## PTA役員・職員紹介特集

### 校長 副校長紹介



稲邊 宣彦 校長

千厩分教室小学部、中学部、本校舎、山目校舎、あすなる分教室と5か所での入学式が終わり、54名の新入生を迎え、全校幼児児童生徒187名で平成29年度がスタートしました。

本校は、今年度創立10周年の節目です。これまでの学校運営のテーマ「信頼」「尊重」「育ち合い」を基礎に、新たに「学び」「つながり」「ひろがり」をテーマに掲げました。子どもたちや保護者の皆様が、確かな学びを感じることができるよう、教職員一同、子どもたちに寄り添いながら、日々本校の教育力の向上に努めてまいります。よろしくをお願いします。

### PTA 役員紹介 PTA会長



千葉 睦子 会長

今年度PTA会長を務めさせていただきます千葉です。息子は5年生の時に清明支援に転校し、今年で7年目です。これまで様々なPTA活動に参加してきましたが、清明の活動はとてもユニークで楽しく活発だと思います。それは保護者から「こんな活動がしたい」とか「ここに見学に行きたい」等の声があるからだと思います。これからもそんな声を大切に楽しく学べる活動ができれば良いと思います。皆様の「声」をお待ちしています。

最後に、療育教室の先生に以前言われ、心に残っている言葉を紹介したいと思います。

『応援してくれる人を増やさない』  
それはどんな人でしょうか。家族、親戚、地域の方、学校の先生、病院、福祉サービスやボランティアの方々など。障がいをもつ子や家族は特に多くの支えを受けて生活しています。その支援に感謝の気持ちを持ち「応援してもらえる人」になれるよう頑張りたいと思います。

一年間、よろしくをお願いします。